

みんなが活躍する安全なまちづくり！

秩父市では、世界基準の安全・安心なまちづくりを進める都市として、セーフコミュニティの取り組みを推進しています。セーフコミュニティとは、「事故やケガは偶然起こるのではなく、予防することができる」という理念に基づき、根拠となるデータを検証しながら、市民の皆さんとさまざまな団体が協働して予防対策を行う安全・安心なまちづくりです。当市では7つの分野ごとにデータの分析、取り組みを実施していますが、今回は高齢者の安全対策委員会の取り組みについてご紹介します。

高齢者の安全対策委員会では、次の取り組みを推進しています。救急搬送データにおいて高齢者の自宅での転倒が多いことから、高齢者を対象として、「高齢者の転倒予防に効果があるちちぶお茶のみ体操（通称…茶トレ）の普及」を推進しています。自宅ですしの時間でもできる茶トレを普及させることで、ひざや腰まわりの筋肉を鍛え、転倒予防につなげています。



ちちぶお茶のみ体操の様子

また、自宅でのケガの発生状況を詳しく把握するため、高齢者への実態調査を行いました。この結果を踏まえて、危険箇所や改善方法を記載したリーフレットを作成し、配布しています。リーフレットには、あまりお金をかけずに、住環境を改善する工夫や「茶トレ」の実践方法なども盛り込んでいます。各地区の敬老会等で配布し、自宅での転倒予防を啓発しています。

次に、高齢者が気軽に集まり、高齢者同士で見守りあえるサロンの設置を進めています。高齢者同士で体操をしたり、歌を歌ったりして、継続可能な見守りの仕組みとして進めたいと考えています。今年度からは、サロン活動の推進を目的に活動を行っている団体に対し、一定の条件で助成金を交付しています。また、サロンづくりの一環とし



秩父ポテくまくん健康体操の様子

て、「秩父ポテくまくん健康体操」の普及・促進にも努めています。

次に、単身高齢者などを対象に、そつと見守る「ふれあいコール」を実施しています。町会や民生・児童委員の皆さんにご協力をいただき、洗濯物が干しっぱなし、新聞や郵便がたまっているなど普段と違いを感じたら、市役所等へ連絡するように連携をしています。

最後に、高齢者を対象とした「交通安全に対するアンケート」を実施しています。アンケートの結果、「自分自身はルールを守っている」と答えた人が圧倒的に多かったのですが、「自分以外の高齢者は守っていない」と答えた人も多い結果でした。このアンケート内容を踏まえ、平成27年度の交通安全教室から調査結果を反映しています。



高齢者を対象にアンケートを実施

問 危機管理課 ☎ 22-2206

火災発生時の消火活動に伴う水道水の濁りについて

秩父広域市町村圏組合水道局では、老朽化した水道管の布設替えを順次実施しています。しかし、火災発生時に消火栓を使用した場合、水道管内の流速が急変するため、水道水が濁ることがあります。大変ご迷惑をおかけしますが、消火活動であることを考慮いただき、ご理解とご協力をお願いします。蛇口をしばらく開けていても濁り水が出る場合は、水道局工務課までご連絡ください。

問 秩父広域市町村圏組合水道局 ☎ 25-5221